

令和3年度事業報告書

(期間:2021年4月1日から2022年3月31日まで)

法人の名称 特定非営利活動法人 ダイヤモンド・フォー・ピース

1 事業の成果

2021年度は、①啓発事業においては、啓発動画の制作等の啓発ツールの開発に取り組んだ。また昨年度に引き続き対面での啓発活動の実施が困難な状況下、国内外の対象者に向けてオンラインによる啓発活動を実施した。また、5年振りに消費者及び販売企業のダイヤモンド関連課題に対する意識調査を実施した。

②自立支援事業においては、前年度から継続した組合活動支援の他、採掘労働者への養蜂研修の継続、ダイヤモンド原石評価基礎研修開催準備をすることができた。

③緊急支援として、COVID-19の緊急支援を引き続き行うとともに、コンゴ・ニーラゴンゴ火山噴火によるゴマ避難民とホストファミリーへの緊急支援を行った。

2020年度より開始した④その他の事業では、企業、NPOへのコンサルティング事業等を行った。主な事業内容は以下のとおりである。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 啓発事業

ア ウェブサイト、SNS、機関誌、メールマガジンによる啓発活動

・内容

Facebook、Instagram、Linkedin等のSNSを用いて、活動の進捗報告やイベント開催等を定期的に周知した。また、機関誌「The Journey」第5号(2021年9月発行)を発行し、リベリアの活動対象村における採掘労働者組合の正式認可や組合の実施する養蜂活動について紹介した。同機関誌は英語と日本語の併記で、日本・海外における広報啓発ツールとなっている。なお、機関誌は紙面の配布に加え当法人ウェブサイトからもダウンロードすることができる。

- ・日時 2021年4月～2022年3月
- ・場所 当法人事務所他
- ・従事者人員 のべ15人
- ・受益対象者 当法人のウェブサイト、Facebook ページ、Instagram アカウント、Linkedin ページにアクセスする者およびメールマガジン購読者 のべ75,380人
- ・支出額 136,260円

オンラインの媒体	投稿数/配信数	リーチ数(訪問数)	備考・詳細等
日本語ウェブサイト	8	32,752	52,216 (PV)
英語ウェブサイト	10	18,367	9,247(PV)

Facebook ページ	22	12,585	--
Instagram	35	4,446	--
Linkedin	10	1,535	--
日本語メールマガジン	9	4,855	のべ購読者数
英語メールマガジン	2	347	のべ購読者数
機関誌「The Journey」	1	493	387(紙面配布数) 106(ダウンロード数)*
合計	97	75,380	--

*2021/9/15～2022/5/20 のダウンロード数

イ 講演・講義活動

・内容

2021 年度は対面での講演・講義活動が引き続き困難な状況下、zoom などのオンラインビデオカンファレンスツールを用いて、日本国内及び海外の対象者に向けた講演の機会を得た。講義・講演の内容は、対象者及び主催者の意向により、ダイヤモンドに関する課題、サプライチェーンの課題、環境問題・保護などを取り上げた。

・日時 2022 年 1 月～2022 年 2 月

・場所 オンライン

・従事者人員 のべ 2 名

・受益対象者 ダイヤモンドに関する課題、サプライチェーンの課題、最新技術の導入、環境保護や国際協力に興味のある大学生及び社会人 77 名

・支出額 0 円

◎講演・講義活動実績

No.	開催日	講演主催者	内容	参加人数
1	1 月 14 日	グロービス経営大学院アフリカ部	リベリアの紹介、当法人の活動概要の紹介	40 名
2	2 月 14 日	環境省 インドネシア環境・森林省 インドネシア国立研究革新庁	ジュエリーの責任ある調達について	37 名
				77 名

ウ. イベントの開催

・内容

イと同様に、対面でのイベントを開催することができなかったが、zoomなどのオンラインビデオカンファレンスツールを用いて、日本国内や英語圏対象者向けのオンラインイベントを開催した。

また、国内外の団体が主催するイベントに参加した。パネリストとしてイベントに参加する機会が増えており、業界内における団体の知名度の向上を感じた。

- ・日時 2021年5月～2022年2月
- ・場所 下表参照
- ・従業者人員 3人
- ・受益対象者 ダイヤモンドに関する課題、サプライチェーンの課題、最新技術の導入、環境保護、国際協力に興味のある大学生及び社会人 731名
- ・支出額 38,000円

◎当法人主催イベント

No	開催日	イベント名	内容	場所	参加人数
1	9月23日	DFP Webinar “Recent Developments by KPCSC and Diamonds for Peace” (英語)	・紛争ダイヤモンド・人権・環境・貧困問題と、当法人がこれらの問題の解決に向けて取り組んでいる鉱山労働者の組合運営支援や生計向上のための養蜂プロジェクト等について紹介。 ・ゲストスピーカーより、キンバリー・プロセスの動向について説明。	オンライン	49名
2	12月10日	DFP オンラインセミナー 「ダイヤモンド、キンバリー・プロセスと人権:最近の動向」 (日本語)	同上	オンライン	35名
				合計	84名

◎外部イベントへの出展

No	開催日	イベント名	内容	主催者	参加人数
1	5月18日	Instagramライブ Diamonds for Peace x Mio Harutaka x Eleminist	当法人の活動紹介(主に養蜂 事業について)	Mio Harutaka Eleminist	270名
2	7月12日	GEMS AFRICA	セッション「Gems for Peace」の パネリストとして参加	AWEIK	80名
3	7月15日	Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs 20周年記念シン ポジウム・ウィーク NPO/NGOの組織基盤 強化を考える4日間	セッション「アフリカを伝える:ア フリカ分野が育んだ人材、つな がりとこれから」のパネリストと して参加	Panasonic	70名
4	7月12日	Online Event on 'Innovations in ASM Supply Chains during COVID-19'	助成対象事業についての活動 概要の紹介	世界銀行	37名
5	11月1日	国際貴金属宝飾品連盟 (CIBJO)年次総会	責任ある調達に関するパネル ディスカッションにパネリストと して参加	国際貴金属 宝飾品連盟	160名
6	11月20日	SDGs よこはま CITY 秋	・当法人活動概要紹介 ・映画「ダイヤモンドが来た道」 上映	よこはま国際協 力・国際交流プラッ トフォーム運営委 員会	19名
7	2月20日	SDGs よこはま CITY 冬	・当法人活動概要紹介 ・映画「ダイヤモンドが来た道」 上映	よこはま国際協 力・国際交流プラッ トフォーム運営委 員会	11名
合計					647名

エ 動画「ダイヤモンドについて語ろう～採掘の代償を払っているのは誰？」日本語字幕制作

・内容

キンバリープロセス市民社会連合が作成した動画「We need to talk about diamonds」の日本語字幕版を制作した。本動画では、採掘労働者自らが労働環境の実態を語り、ダイヤモンドの研磨業者・販売業者も登場し、現状への見解を述べる。日本語字幕動画は 2022 年度の公開を予定している。

・日時 2021 年 4 月～2022 年 3 月

・場所 当法人事務所他

・従業者人員 6 人

・受益対象者 世界で手掘りダイヤモンド採掘に従事する労働者およそ 1,300 万人（今年度は未公開のため予定数）

・支出額 0 円

オ 動画「Children's Dream」制作

・内容

動画では、当団体の活動対象地域であるリベリア西部のダイヤモンド採掘村で暮らす子どもたちが将来の夢について語る。動画は団体の英語ウェブサイトで公開した他、2022 年度には日本語に翻訳し、公開を予定している。

・日時 2021 年 9 月～2021 年 12 月

・場所 当法人事務所他

・従業者人員 4 人

・受益対象者 リベリア西部の活動対象ダイヤモンド採掘村に暮らす人々およそ 3,000 人

・支出額 0 円

カ 消費者及び販売企業のダイヤモンド関連課題に対する意識調査

・内容

2016 年度に実施した以下 3 つの調査を再度実施し、経年変化を検討した。調査結果は 2022 年度に「ダイヤモンド白書」として発表する予定である。

1) ダイヤモンド製品を扱う 119 ブランド及び販売企業に対する意識調査

全国のダイヤモンド製品を扱うブランド及び販売企業 119 社に書面にてダイヤモンドの人道・環境配慮に関する調査票を配布し、5 社より回答を得た。

2) ダイヤモンド製品を扱う 3 ブランドショップでの覆面調査

首都圏に実店舗を構える 33 ブランドを訪問し、覆面調査を実施した。ブランドが取り扱う婚約指輪などのダイヤモンド製品について産出国や研磨した国等、製品のトレーサビリティに関する質問を店員に行なった。

3) 一般消費者 1,000 人を対象としたインターネット意識調査

インターネット調査会社を通じ全国の 20～60 代の男女 1,000 人を対象に、ダイヤモンドの人道・環境配慮に関する意識調査を実施した。

・日時 2021 年 4 月～2022 年 3 月（継続中）

・場所 当法人事務所他

・従業者人員 7 人

- ・受益対象者 直接受益者:国内外の「ダイヤモンド白書」の読者 約 35,000 人 (今年度は未公開のため
予定数)
間接受益者:以下の調査協力者
上記 1)調査対象企業 119 社
上記 2)覆面調査対象店舗 33 店舗
上記 3)インターネット意識調査対象者 1,000 人
- ・支出額 548,971 円

② 自立支援事業

・内容

ア 養蜂リフレッシュ研修・OJT 研修の実施、中級養蜂研修への参加

ダイヤモンド手掘り採掘労働者が貧困の悪循環から抜け出し、ダイヤモンド採掘以外の収入源を多様化することでより安定した生活を送ることができるよう、NGO ユニバーサル・アウトリーチ・ファウンデーション(UOF)の協力により 2020 年よりリベリア国対象村において養蜂研修を実施している。2021 年度は養蜂技術を確実に定着させるために、毎月 OJT 研修を 2020 年度に引き続き実施した。2022 年 5 月現在、38 名の組合員が養蜂グループのメンバーとして活動し、117 個の巣箱が作成され、うち 14 個の巣箱にミツバチが巣を作り定着している。また、組合における巣箱の管理と習得した養蜂技術を他の組合員に広めるために、ブッシュ・マネージャーと呼ばれるリーダー 7 名を選出し、彼らがより高い養蜂技術を習得できるよう、2021 年 11 月 19 日～29 日にニンバ州で開催された中級養蜂研修に参加した。

- ・日時 2021 年 4 月～2022 年 3 月
- ・場所 リベリア共和国 ウィズア村
- ・従事人数 6 人
- ・受益対象者 対象地の採掘権所有者、採掘労働者、村のリーダー、女性等 70 名
- ・支出額 805,000 円



ニンバ州における研修終了証書を授与された参加者たち



毎月実施した OJT 研修の様子

イ 採掘組合支援活動

・内容

リベリア共和国ウィズア村の採掘組合を対象に、以下の活動を継続的に実施し組合を適切に運営するための能力強化に継続的に取り組んだ。2021年8月4日に組合開発庁より正式な組合資格を取得し、資格授与式の式典開催を支援した。

- 組合の定期活動、定期会議開催の促進
- 基本的な記録作成方法の指導と記録確認、助言
- 活動モニタリング・助言

また、組合の事業運営能力強化を目的とした活動を実施した。組合は魚の養殖池の開発、下部組織の労働者グループは石けんの生産・販売、女性グループは米・油の調達・販売に取り組んだ。これらの活動では特に以下について注視し、モニタリング・アドバイスを当会が実施した。

- 事業計画の作成
- 物資調達時の正しい領収書の入手
- 実施した活動の振り返り
- 出納帳記帳と資金管理

- ・日時 2021年4月～2022年3月
- ・従事者人員 5名
- ・受益対象者 ウィズア村の組合員約50名及びその下部組織員約70名
- ・支出額 1,632,000円



資格授与式の様子



授与式に出席した組合員及び組合開発庁職員

ウ リベリア及び採掘村における環境調査及び環境保護活動

・内容

＜放棄鉱山、野外排泄場所、ゴミ放置場所のマッピング、現地原生木種調査、苗木育成テスト＞

リベリア共和国ウィズア村において、地域環境に対する意識向上のため、主要放棄鉱山、排泄場所、ゴミ放置場所のマッピングを行い、地図を作成した。また、付近の水質および土壌の簡易検査も実施した。結果の取りまとめ後、住民集会を開催し(55人参加)、衛生環境向上及び環境保護のためのアクションプランを検討し、衛

生向上委員会を設置した。また、今後の植林活動にむけ現地の原生木の種類を確認し、苗木育成のテストを行った。

<クリーンキャンペーンの実施>

衛生向上委員会と共に、クリーンキャンペーンを開催した。約 50 名の村人が集まり約 45 袋のゴミを回収した。回収したゴミはプラスチックが最も多く、全体の約 6 割を占めた。回収したゴミの処理について住民間で協議・検討し、プラスチックのうち他の目的に転用できるものは再利用する、それ以外のプラスチックは廃棄場所を定めそこに置く、紙は燃やす、金属は量を多く集めたら首都に売りに行くことになった。

<公共トイレの建設>

村からの要望を受け、2022 年 3 月にウズア村のスライウェイ(Slayway)と呼ばれる集落に4個室からなる公共トイレ1棟を設置した。この集落ではほとんどの住民が沼地や小川を排泄場所として利用している。設置にあたり、村が自助努力として、工事に必要な砂、水、ブロック及び労働力の提供を行うことになり、それ以外の必要材料物資の調達および建設技術者は当法人提供し、工事を進めた。運営・管理に関してはトイレ管理委員会を設置し、使用規則や維持管理費の集金額について協議・決定した。

<手掘り採掘鉱山における国際環境基準案策定のための調査>

ダイヤモンドに限らず、手掘り鉱山における人権の保護を主目的とした国際基準に追加して使用できる環境保護基準案の策定が世界銀行を主導に行われている。当法人ではその案の策定に寄与するため、リベリア国内での調査に協力した。

- ・日時 2021 年 6 月～2022 年 3 月
- ・従事者人員 10 名
- ・受益対象者 ウズア村の組合員約 50 名及びその下部組織員約 70 名、ウズア村の住民約 2,000 名、リベリア国内で手掘り採掘の環境保護に関係する省庁や団体職員約 15 名
- ・支出額 3,891,672 円



マッピングの様子



完成した公共トイレ

エ ダイヤモンド原石評価基礎研修開催準備

・内容

手掘りダイヤモンド採掘を行う採掘者達はダイヤモンドの使用目的や価値をほとんど知らない。それが搾取される一因でもあるため、ダイヤモンド原石評価の基礎研修を開催するための準備を行った。対象とするリベリア西部 17 採掘村を訪問し、事業への合意取り付け、関係者との会合、村を代表して参加する研修参加希望者への面談を実施した。

- ・日時 2022 年 1 月～2022 年 3 月
- ・従事者人員 7 名
- ・受益対象者 リベリアボミ州およびバポル州でダイヤモンド採掘を行う者約 3 万人
- ・支出額 960,000 円

③緊急支援事業

ア 手掘り採掘地域むけ COVID-19 緊急支援事業

世界銀行 The Extractives Global Programmatic Support (EGPS) 信託基金の手掘り採掘地域むけ COVID-19 緊急支援助成金を受け 2020 年度に続き、保健、経済、調査の3分野に関してそれぞれ以下の活動を実施した。

・内容

1. 保健分野

リベリア西部(ボミ州・バポル州)17 村を対象とした保健分野の事前調査を元に作成したワークショップ内容を策定し17村にて研修を開催した(のべ研修参加人数 1,099 人)。また、資料を主要関係者に配布した。研修後、参加者による石けんをもちいた手洗い率が向上し、自ら石けんを作る者がいることを確認した。

#	作成資料	配布人数	対象者
1	事前調査結果	20	手掘り採掘セクターの主要関係者
2	保健ワークショップ実施方法(ガイド)		
3	特徴的な症状と手洗いに関するパンフレット	1,099	研修参加者と手掘り採掘セクターの主要関係者
4	石鹸の作り方		
	合計	1,119	

1. 経済分野

前年度に開発した、ウィズア村の採掘組合向け手掘りダイヤモンド採掘に関するリスク分析とその対応方法を継続的に検討・実施するデューデリジェンスツールと啓発資料を活用し、ウィズア村の採掘組合を対象にワークショップを開催した。26 名が参加し、デューデリジェンスの重要性を理解した。また、責任ある採掘・調達に関

するビデオを作成し、ワークショップで参加者に見せたところ、反響が高く、デューデリジェンスを今後行っていくモチベーション向上につながった。



組合におけるデューデリジェンス・ワークショップ

作成した啓発資料を下記の関係者へ配布した。ビデオは当法人の YouTube チャンネルで一般公開している。

#	作成資料	配布人数	対象者
1	リベリアの手掘り採掘組合のためのデューデリジェンスツール	46	組合メンバー及び手掘り採掘セクターの主要関係者
2	デューデリジェンスに関するチラシ		
3	責任ある採掘・調達に関するビデオ	104	ワークショップ参加者、手掘り採掘セクターの主要関係者(免許保有輸出業者を含む)、責任ある調達に興味がある者
	合計	150	

1. 調査分野

前年度に作成した調査票を用い、リベリア国内でダイヤモンド輸出の免許を持つ輸出企業に調査票を配布し、2社から回答を得た。また、調査の中で責任あるダイヤモンドの調達に関する啓発資料を下記の関係者へ配布した。

#	作成資料	配布 人数	対象者
1	責任ある調達に関するチラシ	24	免許保有輸出業者,ディーラー組合,手掘り採掘セクターの主要関係者
2	責任ある採掘・調達に関するビデオ (経済分野で配布したものと同一)	経済分野の頁を参照	
3	リベリアにおける許可保持ダイヤモンド輸出業者を対象とした調査結果	20	手掘り採掘業界の主要関係者
	合計	44	

- ・日時 2021年4月～2021年5月
- ・従事者人員 7名
- ・受益対象者 リベリアボミ州およびバポル州でダイヤモンド採掘や関連活動を行う者、手掘りダイヤモンドに関連する省庁や輸出免許保有企業約1,313人
- ・支出額 2,815,937円

イ コンゴ・ニーラゴンゴ火山噴火によるゴマ避難民とホストファミリーへの緊急支援

・内容

ダイヤモンド産出国であるコンゴ民主共和国で発生したニーラゴンゴ火山の噴火による避難民及びそのホストファミリー20名(避難民総数は数千人)に対し、現地NGOのCBCSネットワークと協力し、当面の危機をしのぐのに必要な生活費として、対象世帯あたり20ドルの現金ならびに食糧の支援を行った。

- ・日時 2021年5月～2021年7月
- ・従事者人員 5名
- ・受益対象者 コンゴ・ニーラゴンゴ火山噴火によるゴマ避難民とホストファミリー約20人
- ・支出額 52,117円

④その他の事業

ア コンサルティング事業

・内容

- 企業むけ補助金申請支援
補助金獲得をめざす企業に対し、補助金を得て実施する活動のヒアリングを行い、補助金申請書の作成を支援した。
- NPOむけプロジェクト会計報告作成支援
NPOが助成元に提出するための煩雑な会計報告の作成を支援した。

- ・日時 2021年4月～2022年3月
- ・従事者人員 3名
- ・受益対象者 発注企業、団体 のべ2団体
- ・支出額 109,779円

イ 教育事業

- ・内容

2021年度は主に以下の案件を教育事業として実施した。

- 各種団体むけ講演
受託したオンラインセミナーにて講演を行った。

- ・日時 2022年1月
- ・従事者人員 1名
- ・受益対象者 オンラインセミナー参加者約40名
- ・支出額 0円